

わかりやすく解説

花巻市の財政状況

＜令和4年度決算から＞



ナンブウウチソウ

花巻市の財政状況を
わかりやすく
解説します。



フラワーロールちゃん

もくじ

その1 花巻市の決算状況は？

- ① 花巻市の決算収支は？・・・・・・・・・・ 1
- ② 花巻市の財政は黒字？・・・・・・・・・・ 1
- ③ 歳入（入ってきたお金）の状況は？・・・・ 2
- ④ 歳出（使ったお金）の状況は？・・・・ 3
- ⑤ 基金（貯金）の状況は？・・・・・・・・・・ 5
- ⑥ 一般会計地方債（借金）の状況は？・・・・ 6

その2 花巻市の財政状況は？

- ① 自由に使えるお金の割合は？・・・・・・・・ 7
- ② どれくらい自力で財源を確保できているの？・・・ 8
- ③ 借金返済の負担状況はどうなの？・・・・ 9
- ④ 将来の世代に借金の負担はかからないの？・・・・ 10

巻末資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～13

花 巻 市

その1 花巻市の決算状況は？

花巻市の令和4年度の決算が令和5年9月定例議会で認定されました。
昨年度はどのような決算状況なのか、わかりやすく説明します。

まず、令和4年度一般会計決算から花巻市の決算収支を説明します。

① 花巻市の決算収支は？

歳入

577億9,519万円
(対前年度 △9億3,808万円 △1.6%)

歳出

548億6,351万円
(対前年度 △11億1,386万円 △2.0%)

【決算収支の状況】

区 分	決 算 額		増 減 額	増 減 率
	4 年 度	3 年 度		
歳入総額 a	577億9,519万円	587億3,327万円	△9億3,808万円	△1.6%
歳出総額 b	548億6,351万円	559億7,737万円	△11億1,386万円	△2.0%
形式収支額 c=a-b	29億3,168万円	27億5,590万円	1億7,578万円	6.4%
翌年度繰越財源d	8億4,777万円	6億4,713万円	2億 64万円	31.0%
実質収支額 e=c-d	20億8,391万円	21億 877万円	△2,486万円	△1.2%
単年度収支額 e-(前年度実質収支額)	△2,486万円	8億8,878万円		

※単年度収支額とは、当年度の実質収支額と前年度の実質収支額の差額をいいます。

② 花巻市の財政は黒字？

地方財政の黒字または赤字は、「**実質収支**」という指標によって示されます。

令和4年度決算の「実質収支額」は20億8,391万円であり、**花巻市の財政は黒字**ということになります。

「実質収支」＝歳入総額（577億9,519万円）－歳出総額（548億6,351万円）
－翌年度に繰越すべき財源（8億4,777万円）



○形式収支

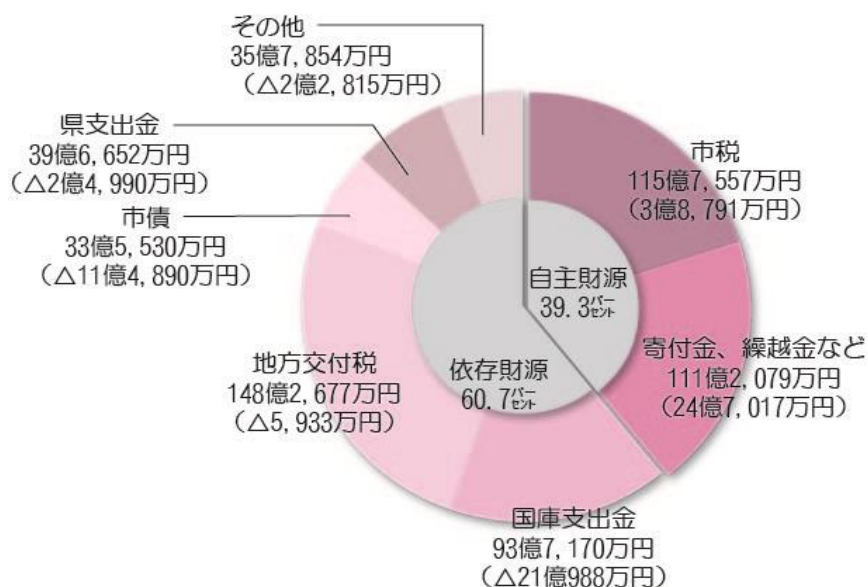
歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額

○実質収支

形式収支から翌年度に繰越して実施すべき事業の財源を差し引いた額

③ 歳入（入ってきたお金）の状況は？

【歳入決算額内訳】



- 自主財源
市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源
- 依存財源
地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金
- 地方交付税
市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金
事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金
- 市債
事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金



☆ 歳入決算額の前年度増減額は11ページをご覧ください

自主財源の

市税は、個人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税が増となったことから、昨年度に比べ3億8,791万円の増となりました。

寄附金は、イーハトーブ花巻応援寄附金（ふるさと納税）の増加により、昨年度に比べ2億3,049万円の増となりました。

依存財源の

国庫支出金は、子育て世帯臨時特別給付金の減などにより、昨年度に比べ21億988万円の減となりました。

地方交付税は、普通交付税が減となったことなどから、昨年度に比べ5,933万円の減となりました。

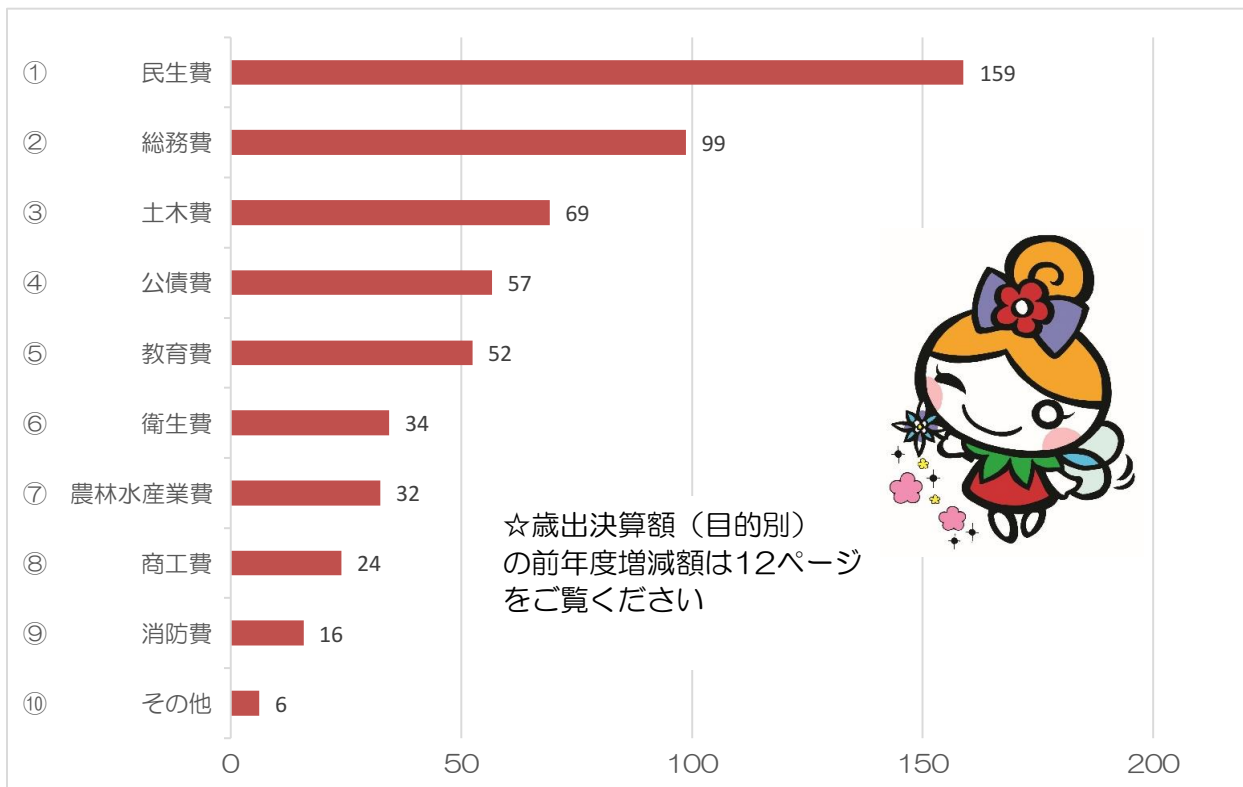
市債は、臨時財政対策債が減となったことなどから、昨年度に比べ11億4,890万円の減となりました。

県支出金は、産地パワーアップ補助金の皆減などにより、昨年度に比べ2億4,990万円の減となりました。

④ 歳出（使ったお金）の状況は？

【歳出決算額内訳（目的別）】

（単位：億円）



歳出を目的別に分類すると、以下のような事業に使われていることが分かります。

①

民生費
子育て支援や高齢者・障がい者福祉、医療費の助成などに使われます。

②

総務費
地域づくりや広報、税金や住民票交付の事務、市庁舎の維持管理などに使われます。防災のためのお金も含まれます。

③

土木費
道路や橋、公園、市営住宅などの整備、管理のために使われます。

④

公債費
市債（事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金）を返すために使われます。

⑤

教育費
学校教育・生涯学習・スポーツなどの振興、これらの施設の整備や運営などに使われます。

⑥

衛生費
皆さんの健康づくりのための仕事や、ごみを集めたり処理したりする経費などに使われます。

⑦

農林水産業費
農業や林業などで働いている人を応援したり、森林を守る仕事などに使われます。

⑧

商工費
商店街や中小企業の応援、企業誘致活動、観光客の誘致や観光施設を管理する仕事などに使われます。

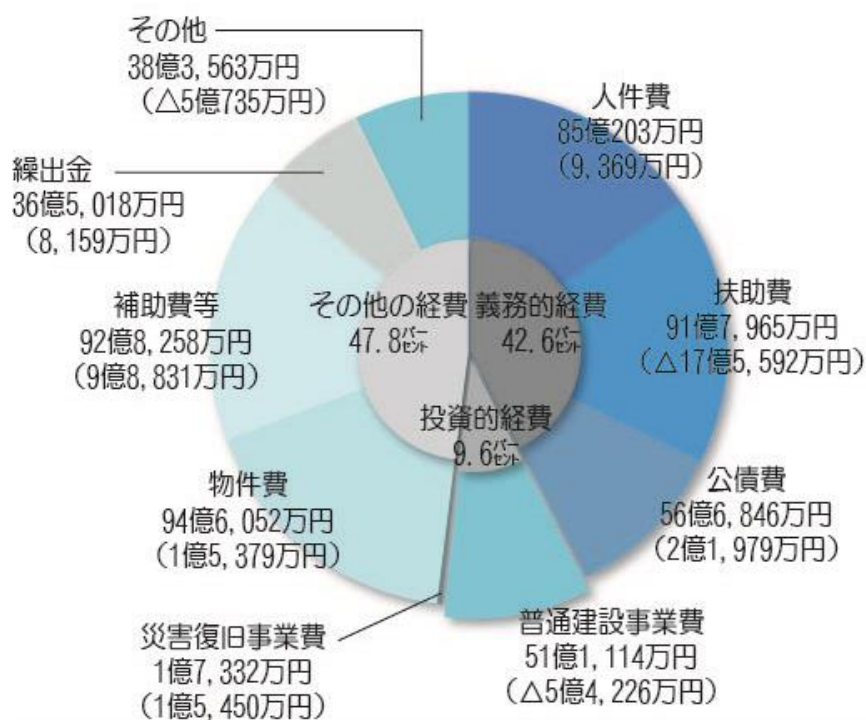
⑨

消防費
消防・救急活動のほか、消防車や救急車の管理や購入、消防署の整備、消防団活動などに使われます。

⑩

その他
議会運営のための「議会費」、働いている人や仕事を探している人を応援する「労働費」などです。

【歳出決算額内訳（性質別）】



○義務的経費

人件費（職員の給料等）、扶助費（社会保障制度の一環として、子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費）、公債費（市債の元利支払い経費）で構成される制度的に義務付けられている経費

○投資的経費

道路や学校、スポーツ施設など将来に残るものに対する経費

○その他の経費

施設の光熱水費や委託料、各種団体に対する補助金などの経費

☆歳出決算額（性質別）の前年度増減額は13ページをご覧ください

歳出を性質別に分類すると、以下のようなことが分かります。

性質別歳出決算の、

義務的経費のうち

人件費は、一般職及び会計年度任用職員の給料の増などにより、昨年度に比べて9,369万円の増となりました。

扶助費は、子育て世帯臨時特別給付金の皆減などにより、17億5,592万円の減となりました。

公債費は、2億1,979万円の増となりました。

投資的経費のうち

普通建設事業費は、生活道路維持事業や小学校施設維持事業などを行いましたが、生産施設等整備事業の皆減などにより、5億4,226万円の減となりました。

その他の経費のうち

補助費等は価格高騰緊急支援給付金の皆増などに伴い9億8,831万円の増、**物件費**は光熱水費の増などにより1億5,379万円の増となりました。



⑤ 基金（貯金）の状況は？

【基金の状況】

項 目	3 年 度 末 現 在 高 a	4 年 度 期 中 異 動			調 整 額 e	4年度末 現在高 f=a+d+e
		積 立 b	取 崩 c	増 減 d=b-c		
財 政 調 整 基 金	77億2,096万円	10億6,394万円	10億6,000万円	394万円		77億2,490万円
減 債 基 金	11億6,285万円	477万円	479万円	△2万円		11億6,283万円
まちづくり基金	65億5,533万円	4億9,787万円	5億2,450万円	△2,663万円		65億2,870万円
そ の 他	15億3,537万円	3,164万円	155万円	3,009万円	0	15億6,546万円
合 計	169億7,451万円	15億9,822万円	15億9,084万円	738万円	0	169億8,189万円

※その他…福祉対策基金、土地開発基金、奨学基金など

家計における貯金は、地方財政では「**基金**」が該当します。

花巻市では主な3基金として**財政調整基金**、**減債基金**、**まちづくり基金**があり、その他の基金として福祉対策基金、土地開発基金、奨学基金などがあります。

財政調整基金とは？

決算で余ったお金などを積み立て、市税等の減収による財源不足や災害の際に取り崩すことにより、年度間の財源を調整するための基金です。



減債基金とは？

公債費（借金）の償還を計画的に行うために積み立てる基金です。

まちづくり基金とは？

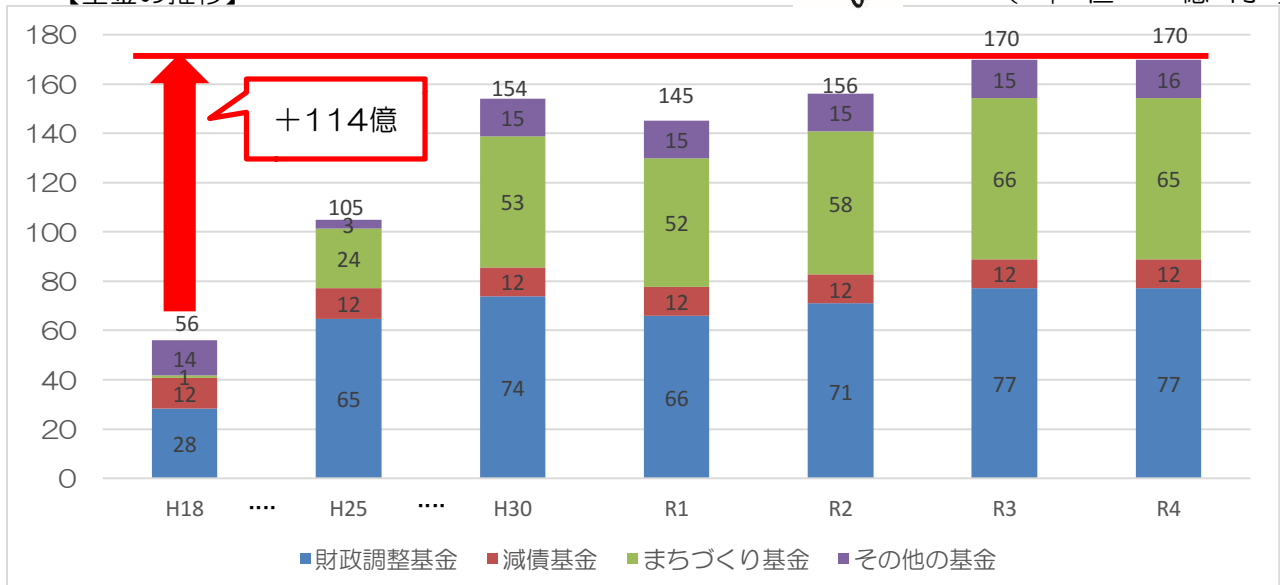
市民の連帯の強化と地域振興のために積み立てる基金です。

ここで、基金の推移を合併時から見てみましょう。



【基金の推移】

（ 単 位 ： 億 円 ）



⑥ 一般会計地方債（借金）の状況は？

【地方債（一般会計）現在高の状況】

3年度末 現在高 a	4年度期中異動			4年度末 現在高 e=a+d
	発行額 b	元金償還額 c	増減 d=b-c	
563億5,400万円	33億5,530万円	54億8,848万円	△21億3,318万円	542億2,082万円

家計における借金は、地方財政では「**地方債**」が該当します。

学校や道路などの公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要となります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の仕事ができなくなるため、地方債を活用して**年度間の負担調整**を図っています。

また、公共施設は将来の世代も利用するものであるため、地方債には**世代間の負担を公平にする役割**もあります。

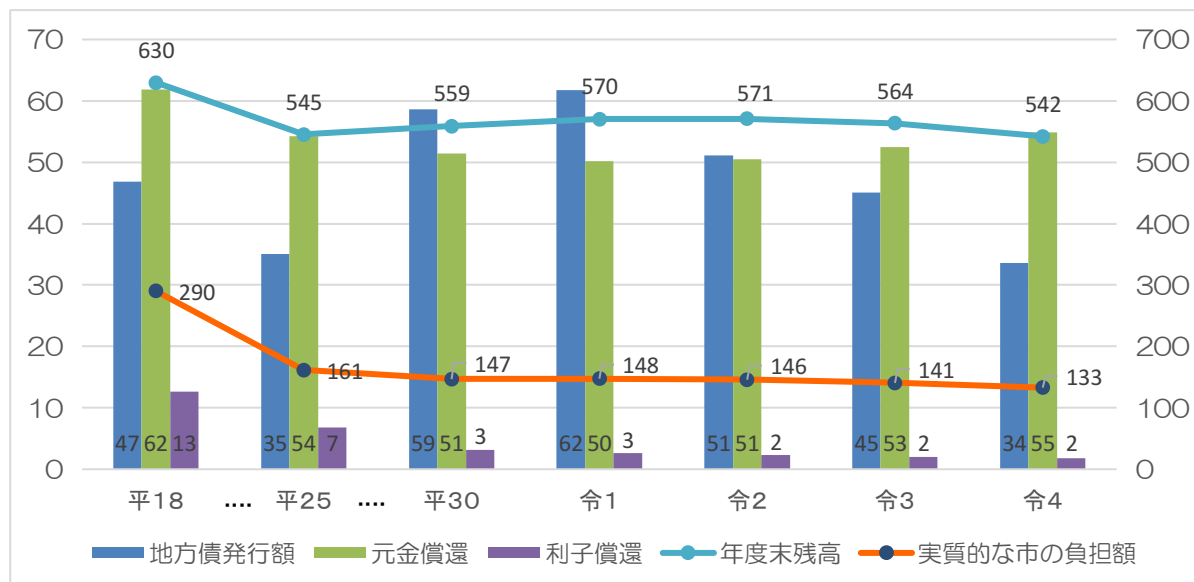
花巻市では、令和4年度に33億5,530万円を新たに借り入れて（地方債の発行）、54億8,848万円を返済（元金の償還）したことにより、令和4年度末の**地方債残高（一般会計）は542億2,082万円**となっています。

※地方債の発行は、原則として、公共施設の建設など資産形成を伴うものの費用に充てる場合に限られます。

ここで、地方債の推移を合併時から見てみましょう。

【地方債（一般会計）残高・発行額・元金償還額・利子償還額の推移】

（単位：億円）



一般会計の地方債残高は、合併時の平成18年度630億円と比較すると88億円減の542億円となっています。

また、地方債残高のうち後年度に地方交付税として受けることができる額や、民間企業に貸付けを行う場合に発行する地域総合整備資金貸付事業債（後年度、民間企業より市に償還される）分を除いた実質的な市の負担額は、平成18年度の290億円から157億円減の133億円にまで減少しています。



その2 花巻市の財政状況は？

令和4年度における花巻市の財政状況を説明します。

自治体の財政状況は様々な財政指標を用いて判断します。今回は、その中から4つをピックアップして説明します。

- ①自由に使えるお金の割合は？（経常収支比率）
- ②どれくらい自力で財源を確保できているの？（財政力指数）
- ③借金返済の負担状況はどうなの？（実質公債費比率）
- ④将来の世代に借金の負担はかからないの？（将来負担比率）



① 自由に使えるお金の割合は？（経常収支比率）

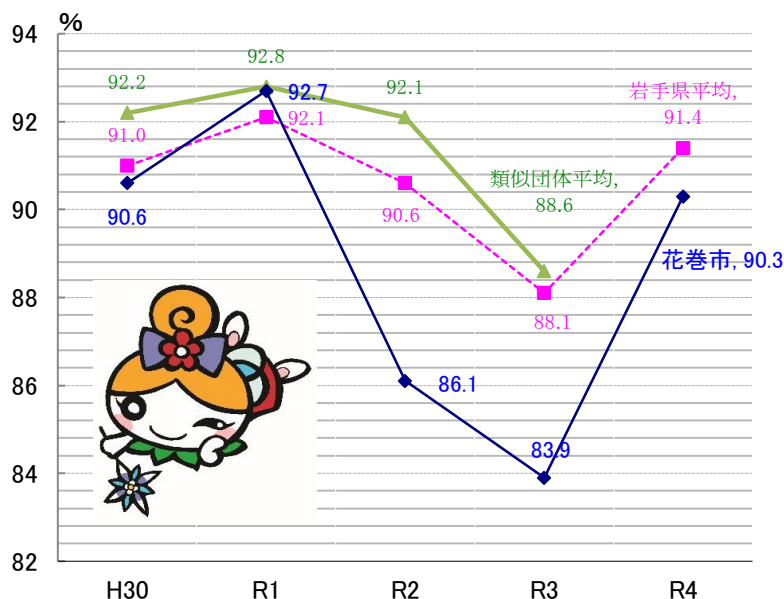
家計において、収入から支払う食費・ローン（借金）・学費など、固定性の強い支出の占める割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。

地方財政では、「**経常収支比率**」という指標によって、**自由に使えるお金の割合（財政構造の弾力性）**が示されます。100%を基準として、基準を上回るほど通常の収入から支出を賄うことができなくなり、財政が逼迫している状況になっていることを意味します。逆に、基準を下回るほどお金の自由度が増し、財政構造の弾力性が高くなっているといえます。

令和4年度決算の「**経常収支比率**」は**90.3%**であり、**9.7%**分を自由に使うことができるといえ、**ある程度の弾力性が認められる**ことがわかります。

ここで、岩手県の平均や類似団体の平均と比較して「**経常収支比率**」の5年間の推移を見ましょう。

【経常収支比率の推移】



花巻市の「経常収支比率」は最近3ヶ年度決算では、県内各市町村より低く、自由に使えるお金の割合が比較的高い状況となっています。

経常収支比率とは？

人件費や公債費、扶助費などの義務的性格の強い経常経費に、市税や普通交付税を中心とする経常一般財源がどの程度充当されているかを見ることにより、財政構造の弾力性を判断する指標です。

経常収支比率

$$= \frac{\text{経常経費充当一般財源総額}}{\text{経常一般財源総額}}$$

※岩手県平均…沿岸12市町村以外の21市町村の平均（岩手県HPより）

※類似団体平均…人口規模や産業構造でグループに分けた市区町村の平均（総務省HPより）

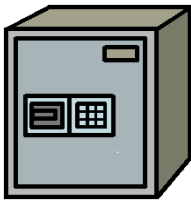
花巻市の類似団体は、青森県十和田市など平成28年度は65団体、平成29年度は64団体、平成30年度～令和2年度は69団体です。令和3年度は48団体、令和4年度は公表前のため非掲載（令和5年10月現在）。以下、5年間の推移グラフの岩手県平均と類似団体平均に関する説明も同様。

② どれくらい自力で財源を確保できているの？（財政力指数）

家計において、支出が収入を上回る場合は、親類からの仕送りに頼る場合があります。

地方財政では、「**財政力指数**」という指標によって、行政の仕事に必要な費用をどれだけ自力で調達できるか（**財政力の強弱**）が示されます。1に近いあるいは1を超えるほど、財源に余裕がある（財政力が強い）といえます。

令和4年度決算の「**財政力指数**」は**0.46**で、国からの普通交付税により不足分を補っています。



財政力指数とは？

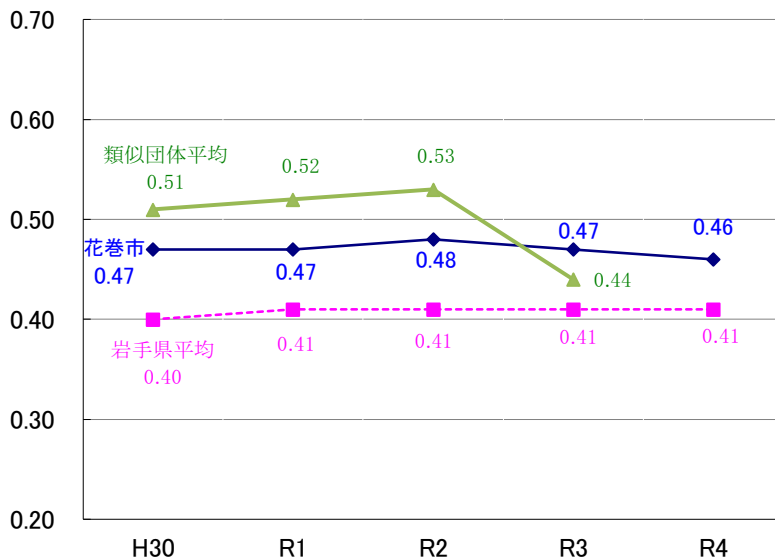
地方公共団体の財政力を示す指数で、「基準財政収入額」を「基準財政需要額」で除して得た数値の過去3年間の平均値をいいます。

「基準財政収入額」・・・各地方公共団体の財政力を合理的に測定するため、地方公共団体の標準的な税収入の一定割合により算出した額
「基準財政需要額」・・・各地方公共団体の合理的かつ妥当な水準における行政を行うために必要となる費用を一定の方法で算出した額

財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体ということになり、1を超える団体は国からの支援を要しない強さを示し、普通交付税の不交付団体となります。

ここで、岩手県の平均や類似団体の平均と比較して「**財政力指数**」の5年間の推移を見ましょう。

【財政力指数の推移】



花巻市の「財政力指数」は、常に岩手県平均を上回っており、県内市町村のなかでは財政力が比較的強いといえます。



普通交付税とは？

地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む方にも一定の行政サービスを提供できるように、国税の一定割合の額が国から地方公共団体へ地方交付税として配分されます。

地方交付税には、普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税があります。

普通交付税は、基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方自治体に対して、その差額（財源不足額）を基本として交付されます。

③ 借金返済の負担状況はどうか？（実質公債費比率）

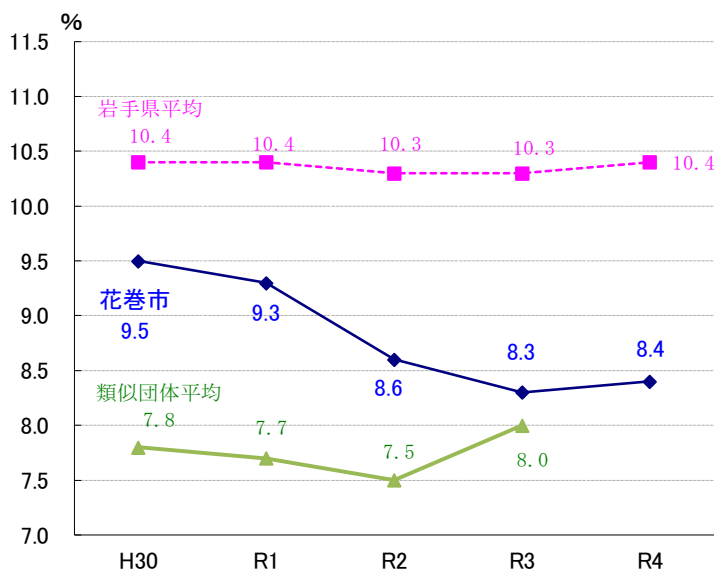
家庭において、家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなどの借金返済額が、収入に占める割合として大きくなればなるほど家計は苦しくなります。

地方財政では、「**実質公債費比率**」という指標によって、**標準的な収入に対する借金返済額の割合**が示されます。借金返済の負担が多すぎないかをチェックする指標で、25%を超えると要注意状態、35%を超えると自主的に財政を立て直せない状態にあることとなります。

令和4年度決算の「**実質公債費比率**」は**8.4%**で、基準値を超えることはありませんでした。

ここで、岩手県の平均や類似団体の平均と比較して「**実質公債費比率**」の5年間の推移を見てみましょう。

【実質公債費比率の推移】



花巻市の「実質公債費比率」は減少傾向が続いています。

合併時に旧市町の借金を引き継いだため、県内他市町村より借金の負担割合が若干大きい状態が続いていましたが、現時点においては岩手県平均より低い比率となっています。



実質公債費比率とは？

地方公共団体の公債費が財政に及ぼす負担を表す指標です。「標準財政規模」に対する元利償還金及び準元利償還金の割合で、決算に基づく数値の3か年平均によって算出されます。

「標準財政規模」…地方公共団体が合理的かつ妥当な水準の行政サービスを提供する上で必要な一般財源の目安となる指標で、標準税収入額等に普通交付税を加算した額。

④ 将来の世代に借金の負担はかからないの？（将来負担比率）

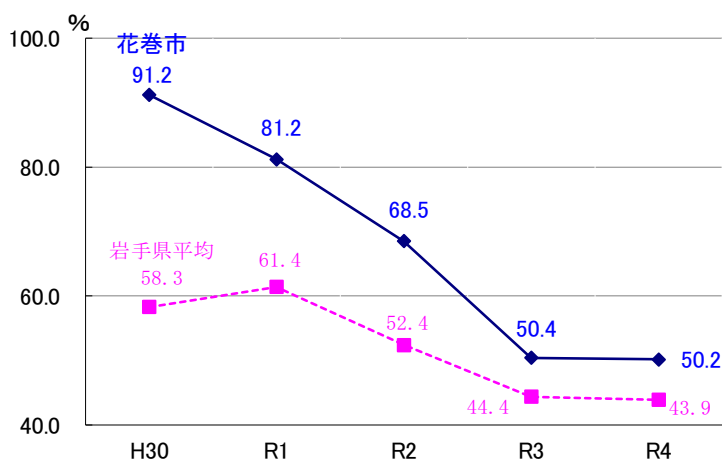
家計において、家や車のローンの残高など、これから返済していかなければならない借金の総額が大きいほど、将来の負担も大きくなります。

地方財政では「**将来負担比率**」という指標によって、**地方債残高などの将来負担額の総額が標準的な収入の何年分にあたるか**ということが示されます。負債にかかる将来的な負担が大きいかをチェックする指標で、350%を超える（将来にわたる借金返済総額が年収の3.5倍を超える）と要注意状態にあることとなります。

令和4年度決算の「**将来負担比率**」は**50.2%**で、基準値を超えることはありませんでした。

ここで、岩手県の平均と比較して「**将来負担比率**」の5年間の推移を見てみましょう。

【将来負担比率の推移】



※類似団体平均は、公表されていないため非掲載



将来負担比率とは？

地方公共団体の実質的な将来負担が標準財政規模と比べてどれだけ重みがあるかを示す指標です。この場合の負担には、市の一般会計、特別会計、下水道事業会計及び市が構成員となっている中部水道企業団など一部事務組合において市が将来負担するお金のほか、市職員に対する退職金負担分などが含まれます。

ひとくちメモ

この将来負担比率50.2%のうち、35.0%は公営企業会計である下水道事業会計にかかる市債の負担であり、高い割合を占めています。



巻末資料

【歳入決算額内訳】

項 目		4 年 度	構 成 比	増 減 額	増 減 率
自主財源	市 税	115億7,557万円	20.0%	3億8,791万円	3.5%
	寄 附 金	46億3,608万円	8.0%	2億3,049万円	5.2%
	繰 入 金	16億 685万円	2.8%	10億7,850万円	204.1%
	繰 越 金	27億5,590万円	4.8%	11億6,712万円	73.5%
	そ の 他	21億2,196万円	3.7%	△594万円	△0.3%
	小 計	226億9,636万円	39.3%	28億5,808万円	14.4%
依存財源	国 庫 支 出 金	93億7,170万円	16.2%	△21億 988万円	△18.4%
	地 方 交 付 税	148億2,677万円	25.7%	△5,933万円	△0.4%
	市 債	33億5,530万円	5.8%	△11億4,890万円	△25.5%
	県 支 出 金	39億6,652万円	6.9%	△2億4,990万円	△5.9%
	そ の 他	35億7,854万円	6.1%	△2億2,815万円	△6.0%
	小 計	350億9,883万円	60.7%	△37億9,616万円	△9.8%
合 計		577億9,519万円	100.0%	△9億3,808万円	△1.6%

※自主財源のその他…諸収入、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入

※依存財源のその他…地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金、法人事業税交付金など

巻末資料

【歳出決算額内訳（目的別）】

項 目	4 年 度	構 成 比	増 減 額	増 減 率
民 生 費	158億8,918万円	29.0%	△10億3,703万円	△6.1%
総 務 費	98億7,140万円	18.0%	2億2,770万円	2.4%
土 木 費	69億1,706万円	12.6%	1億2,410万円	1.8%
公 債 費	56億6,864万円	10.3%	2億1,979万円	4.0%
教 育 費	52億3,959万円	9.5%	△1億6,390万円	△3.0%
衛 生 費	34億4,056万円	6.3%	1億 599万円	3.2%
農 林 水 産 業 費	32億4,412万円	5.9%	△3億9,188万円	△10.8%
商 工 費	23億9,837万円	4.4%	△3億4,598万円	△12.6%
消 防 費	15億7,818万円	2.9%	△1,473万円	△0.9%
そ の 他	6億1,641万円	1.1%	1億6,208万円	35.7%
合 計	548億6,351万円	100.0%	△11億1,386万円	△2.0%

※その他…議会費、労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費

卷末資料

【歳出決算額内訳（性質別）】						
項 目		4 年 度	構 成 比	増 減 額	増 減 率	
義務的経費	人 件 費	85億 203万円	15.5%	9,369万円	1.1%	
	扶 助 費	91億7,965万円	16.7%	△17億5,592万円	△16.1%	
	公 債 費	56億6,846万円	10.3%	2億1,979万円	4.0%	
	小 計	233億5,014万円	42.6%	△14億4,244万円	△5.8%	
投資的経費	普通建設事業費	51億1,114万円	9.3%	△5億4,226万円	△9.6%	
	災害復旧事業費	1億7,332万円	0.3%	1億5,450万円	820.9%	
	小 計	52億8,445万円	9.6%	△3億8,776万円	△6.8%	
その他の経費	物 件 費	94億6, 052万円	17.2%	1億5,379万円	1.7%	
	維持補修費	13億5,554万円	2.5%	△4,413万円	△3.2%	
	補助費等	92億8,258万円	16.9%	9億8,831万円	11.9%	
	積 立 金	15億9,197万円	2.9%	△2億8,944万円	△15.4%	
	投資及び出資貸付金	8億8,812万円	1.6%	△1億7,379万円	△16.4%	
	繰 出 金	36億5,018万円	6.7%	8,159万円	2.3%	
	小 計	262億2,891万円	47.8%	7億1,634万円	2.8%	
合 計		548億6,351万円	100.0%	△11億1,386万円	△2.0%	

※端数処理の関係で各項目の額及び構成比の計積上げと一致しない場合があります。